

(案)

第 1 期 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの 5 年間 (平成 30 年度～令和 4 年度) の取組結果

1 取組の経緯

鳥取県東部・兵庫県北但西部の 1 市 6 町（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町）は、古くから政治、経済、文化等のさまざまな面で一体的な生活圏を形成しており、この圏域を、地域に伝播する重要な民俗文化財である麒麟獅子舞にちなんで「麒麟のまち」と銘打ち、観光振興や移住定住など、様々な取組を進めてきました。

このうち、鳥取県東部の 1 市 4 町と新温泉町では、平成 30 年 4 月の鳥取市の中核市移行に伴い、平成 23 年度に開始した「鳥取・因幡定住自立圏」を廃止して、「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」を形成するとともに、「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」を策定しました。

令和 2 年 3 月には、これに香美町も参画し、「麒麟のまち」圏域全体で、圏域全体の一体的かつ持続的な発展を目指して、取組を推進してきました。

一方、令和元年末に初めて症例が確認された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界各地へ拡大し、日本国内においても、令和 2 年 1 月に最初の感染者が確認されて以降、急速に感染が拡大しました。これにより、渡航制限や移動・外出の自粛など、社会・経済活動が制限され、連携事業の推進にも大きな影響を受けました。

このような中、オンラインの活用や密の回避など、感染予防と事業推進の両立を目指し、取組を進めてきました。

2 圏域人口の状況

(1) 目標値と実績値

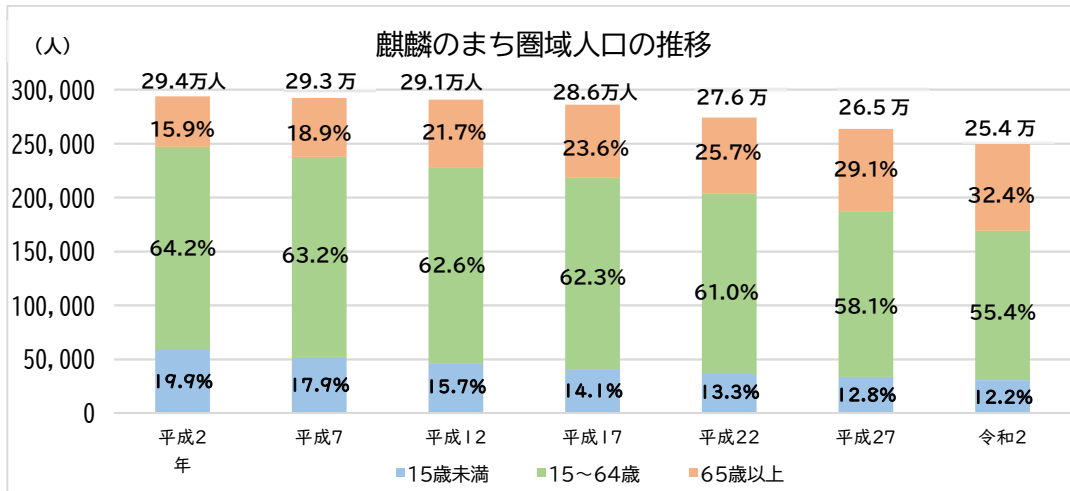
<圏域目標人口>

	基準値	目標値	実績値	達成率
連携中枢都市圏域 目標人口	265,499 人 (H27 国勢調査人口)	255,500 人 (R2 国勢調査人口)	253,874 人 (R2 国勢調査人口)	99.4%

(2) 圏域人口の推移・動態

① 圏域人口の推移

麒麟のまち圏域の人口は、平成 2 年をピークに減少を続け、令和 2 年の国勢調査では 253,874 人となりました。65 歳未満の人口は、一貫して減少しているのに対し、65 歳以上の高齢者人口は増加し続け、令和 2 年には、総人口に占める 65 歳以上人口の割合が 32.4%となり、全国平均（28.6%）を上回っています。



②人口動態の推移

圏域の自然動態は、増減はあるものの一貫して自然減の状況にあります。平成28年の出生数は1,961人であったものが、令和4年には1,566人となり、死亡数は、平成28年3,400人だったものが令和4年には3,665人にまで増加しています。

社会動態は、転入数が減少傾向にあったものの、令和4年は増加しました。転出数は、令和元年までは7,000人を超えていましたが令和2年以降、6,500人前後に減少しています。

<圏域の自然動態の推移>

(人)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出生数	1,961	1,789	1,811	1,655	1,685	1,597	1,566
死亡数	△3,400	△3,458	△3,381	△3,463	△3,261	△3,389	△3,665
自然動態	△1,439	△1,669	△1,570	△1,808	△1,576	△1,792	△2,099

出典：鳥取県人口移動統計調査（鳥取県）、兵庫県人口の動き（兵庫県）

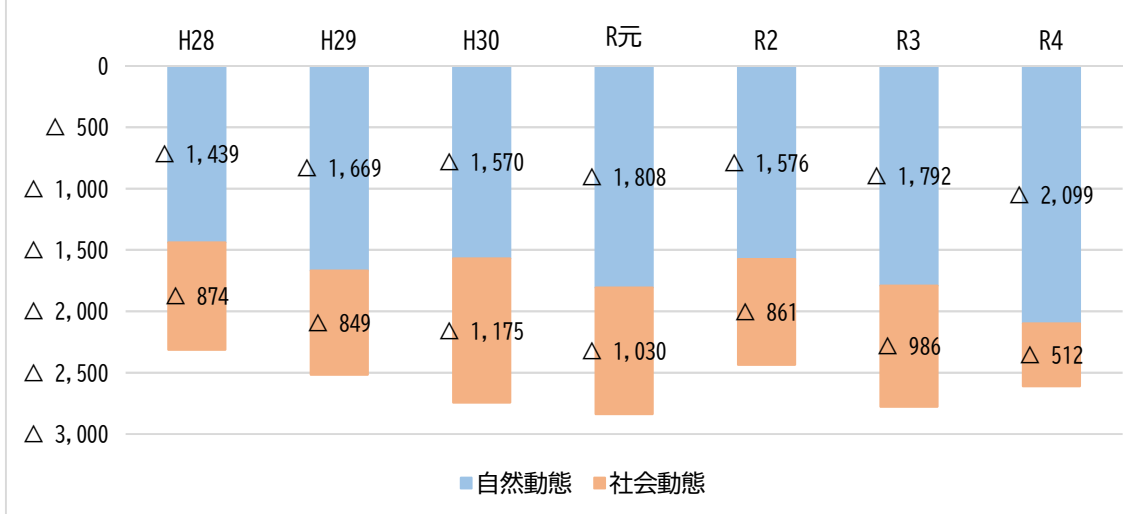
<圏域の社会動態の推移>

(人)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
転入	6,442	6,517	6,232	6,153	5,870	5,565	6,113
転出	△7,316	△7,366	△7,407	△7,183	△6,731	△6,551	△6,625
社会増減	△874	△849	△1,175	△1,030	△861	△986	△512

出典：鳥取県人口移動統計調査（鳥取県）、兵庫県人口の動き（兵庫県）

麒麟のまち圏域の人口動態（自然動態・社会動態）の推移



出典：鳥取県人口移動統計調査（鳥取県）、兵庫県の人ロの動き（兵庫県）

2 KPI（重要業績評価指標）

第1期ビジョンでは、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3つの役割に関する取組を進めてきました。

主な取組結果は、以下のとおりです。

（1）圏域全体の経済成長のけん引

<基本目標（KPI）の達成状況>

指標	基準値（H28）	目標値（R4）	実績値（R4）	達成率
連携中枢都市圏域 目標人口（再掲）	265,499人 (H27 国勢調査人口)	255,500人 (R2 国勢調査人口)	253,874人 (R2 国勢調査人口)	99.4%
圏域への観光入込客数	6,266千人/年	8,000千人/年	5,522千人/年	69.0%

<連携事業のKPI達成状況>

分野	達成又は 100%以上	75%～ 100%未満	50%～ 75%未満	50%未満	その他	合計
新規創業促進、地域の集権企業等を核とした戦略産業の育成	1件 (25.0%)	1件 (25.0%)	1件 (25.0%)	1件 (25.0%)	-件 (-%)	4件
地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	4件 (23.5%)	3件 (17.6%)	7件 (41.2%)	3件 (17.6%)	-件 (-%)	17件
戦略的な観光施策	-件 (-%)	-件 (-%)	7件 (77.8%)	2件 (22.2%)	-件 (-%)	9件
その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	-件 (-%)	1件 (50.0%)	-件 (-%)	1件 (50.0%)	-件 (-%)	2件
合計	5件 (15.6%)	5件 (15.6%)	15件 (46.9%)	7件 (21.9%)	-件 (-%)	32件

※上段はKPI件数、下段は割合

※その他は、令和4年度までに事業完了となったもの、又は事業が実施されなかったもの

<主な取組結果>

①新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

圏域内の事業者等を対象に、生産性向上や経営改善等につながるセミナーを開催するとともに、起業・創業支援やビジネスサポート体制の検討に取り組みました。

また、官民連携で設立された「株式会社地域商社とっとり」の運営支援を行いました。

②地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

麒麟のまち圏域の豊かな自然が育む農林水産資源の確保・維持に取り組むとともに、農林水産業の担い手確保に向けた取組を進めました。

また、関西圏で麒麟のまち圏域の農産物や加工品を販売し、圏域内の農林水産物等の知名度アップや販路拡大を図りました。新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度以降休止していましたが、令和4年度には再開しました。

また、令和元年5月20日に、麒麟のまち圏域によるストーリー「日本海の風が生んだ絶景と秘境～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地『因幡・但馬』～」が日本遺産に認定されました。これを機に、圏域内の各種団体や行政で構成する「日本遺産『麒麟のまち』推進協議会」を設立し、国内外へのプロモーションや観光体験プログラムなどの商品造成に加え、麒麟獅子舞の保存・継承などに取り組みました。

平成29年4月にオープンした「麒麟のまち関西情報発信拠点」（大阪市北区中之島）において、麒麟のまち圏域の情報発信を行い、移住定住の促進、交流人口の増加、特産品の販路拡大を図りました。

鳥取市が運営するインターネットショップ「とっとり市」の出店を麒麟のまち圏域に拡大するとともに、物産展への出展など、物産振興を図りました。また、鳥取市公設地方卸売市場を、圏域全体の経済成長をけん引する市場とするため、再整備を進めています。

③戦略的な観光施策

平成30年1月に、民間事業者と行政が出資して設立された「一般社団法人麒麟のまち観光局」の運営を支援し、新たな観光資源開発などの受入環境整備や国内外に対する情報発信体制の強化、並びに観光商品等の販路拡大による観光客誘致を行うとともに、戦略的な観光マーケティングによって地域の稼ぐ力を引き出し、圏域の観光事業者及び住民の協働のもと地域経済の活性化を図りました。

また、山陰海岸ジオパークや主要道路沿線の地域活性化など、広域観光の振興に取り組むとともに、国内外の観光客の受入環境の向上に取り組みました。

こうした取組の結果、麒麟のまち圏域の観光入込客数は平成28年に627万人だったものが令和元年には681万人に増加しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、令和2年は438万人まで減少した後、令和4年は552万人と回復に転じたところです。

④その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

圏域の次代を担う若者の地元就職・地元定着を図るため、高校生を対象とした企業見学会等を開催しました。令和3年度からは、圏域内の高校を対象に、株式会社マイナビが提供するフィールドスタディプログラム「locus（ローカス）」を開始し、圏域内企業の仕事やその魅力、学びと仕事のつながりや広がりを知ることで、将来的な地域への人材還流と定着を目指しています。

(2) 高次の都市機能の集積・強化

<基本目標（KPI）の達成状況>

指標	基準値（H28）	目標値（R4）	実績値（R4）	達成状況
急患診療所の開所	年間を通して開所	継続して実施	継続して実施	達成
病院群輪番制の実施	すべての日曜日及び第2土曜日に実施	継続して実施	継続して実施	達成
東京便の搭乗者数	353,541人/年	400,000人/年	285,314人/年	71.3%

<連携事業の KPI 達成状況>

分野	達成又は100%以上	75%～100%未満	50%～75%未満	50%未満	その他	合計
高度な医療サービスの提供	5件 (83.3%)	1件 (16.7%)	-件 (-%)	-件 (-%)	-件 (-%)	6件
高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	1件 (33.3%)	1件 (33.3%)	1件 (33.3%)	-件 (-%)	-件 (-%)	3件
高等教育・研究開発の環境整備	1件 (100%)	-件 (-%)	-件 (-%)	-件 (-%)	-件 (-%)	1件
合計	7件 (70.0%)	2件 (20.0%)	1件 (10.0%)	-件 (-%)	-件 (-%)	10件

※上段は KPI 件数、下段は割合

※その他は、令和4年度までに事業完了となったもの、又は事業が実施されなかったもの

<主な取組結果>

①高度な医療サービスの提供

夜間・休日急患診療所の運営を行い、夜間・休日の一次救急医療体制（内科・小児科）を確保しました。新型コロナウイルスが感染拡大した令和2年度と令和3年度は受診者数が減少したものの、その他の年度は年間12,000人以上が受診しています。さらに、休日の二次から三次救急医療体制を確保するため、対象病院の輪番日運営に対する支援を行いました。

また、鳥取市立病院から、国民健康保険智頭病院と公立浜坂病院へ医師を派遣し、地域医療の確保に努めました。

②高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

圏域内唯一の空港である「鳥取砂丘コナン空港」の利便性向上や利用促進を図る取組を進めました。令和2年5月には、国土交通省航空局による羽田発着枠政策コンテストの結果、鳥取・羽田路線の5便化継続が決定しました。新型コロナウイルスの感染拡大した際には、需給調整（減便）が実施されましたが、令和4年7月にはこれを終了し、令和4年度の搭乗者数はコロナ前（令和元年度）の7割程度まで回復しました。

また、公共交通機関のパスカード、ICカードの発行・運用について交通事業者との協議・検討を行い、令和5年4月からは鳥取市100円循環バス「くる梨」にICOCAを導入するとともに、山陰新幹線の整備促進に向けて要望活動等を実施しました。

③高等教育・研究開発の環境整備

公立鳥取環境大学が設置する「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」へ参画し、大学、経済団体等と連携し、地域課題の解決や地域貢献活動を支援しました。

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

<基本目標 (KPI) の達成状況>

指標	基準値 (H28)	目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成率
連携中枢都市圏域 目標人口 (再掲)	265,499 人 (H27 年国勢調査)	255,500 人 (R2 年国勢調査)	253,874 人 (R2 年国勢調査)	99.4%
在宅医療・介護連携 推進事業の実施	全 8 事業を実施	全 8 事業を実施	全 8 事業を実施	達成
路線バス利用者数	2,733,000 人/年 (H30 年度)	減少抑制 年 5%以内	前年比 7.5%増 (2,432,696 人)	達成
ゆめぐりエクスプレ スバス平均乗車人員	2.47 人/便	2.05 人/便	0.72 人/便 (R2 年度で事業終了)	35.1%
若桜鉄道の乗客数	325,000 人/年	410,000 人/年	475,170 人	115.9%
圏域への移住者数	383 人	619 人	723 人	116.8%
婚活サポートセンタ ー運営事業成婚数	4 組/年	60 組 (累計)	31 組 (H30~R4 年度)	51.7%
圏域内全職員数に占 める受講者割合	23.0%	25.0%	6%	24.0%

<連携事業の KPI 達成状況>

分野	達成又は 100%以上	75%~ 100%未満	50%~ 75%未満	50%未満	その他	合計
地域医療	5 件 (100%)	- 件 (-%)	- 件 (-%)	- 件 (-%)	- 件 (-%)	5 件
介護	1 件 (100%)	- 件 (-%)	- 件 (-%)	- 件 (-%)	- 件 (-%)	1 件
福祉	2 件 (33.3%)	1 件 (16.7%)	2 件 (33.3%)	1 件 (16.7%)	- 件 (-%)	6 件
教育・文化・スポー ツ	4 件 (57.1%)	1 件 (14.3%)	1 件 (14.3%)	1 件 (14.3%)	- 件 (-%)	7 件

地域振興	4件 (57.1%)	-件 (-%)	1件 (14.3%)	2件 (28.6%)	-件 (-%)	7件
災害対策	-件 (-%)	-件 (-%)	1件 (100%)	-件 (-%)	-件 (-%)	1件
環境	-件 (-%)	1件 (100%)	-件 (-%)	-件 (-%)	-件 (-%)	1件
地域公共交通	4件 (57.1%)	-件 (-%)	2件 (28.6%)	1件 (14.3%)	-件 (-%)	7件
ICT インフラ	1件 (50%)	-件 (-%)	-件 (-%)	1件 (50%)	-件 (-%)	2件
地域内外の住民との交流・移住促進	3件 (50.0%)	2件 (33.3%)	-件 (-%)	-件 (-%)	1件 (16.7%)	6件
ネットワークの強化に係る連携	1件 (50.0%)	-件 (-%)	1件 (50.0%)	-件 (-%)	-件 (-%)	2件
人材の育成	1件 (50.0%)	-件 (-%)	-件 (-%)	1件 (50.0%)	-件 (-%)	2件
外部からの行政及び民間人材の確保	1件 (50.0%)	-件 (-%)	-件 (-%)	1件 (50.0%)	-件 (-%)	2件
圏域内市町村の職員等の交流	1件 (100%)	-件 (-%)	-件 (-%)	-件 (-%)	-件 (-%)	1件
合計	28件 (56.0%)	5件 (10.0%)	8件 (16.0%)	8件 (16.0%)	1件 (2.0%)	50件

※上段は KPI 件数、下段は割合

※その他は、令和4年度までに事業完了となったもの、又は事業が実施されなかったもの

<主な取組結果>

①地域医療

鳥取市内の病児・病後児保育施設の広域利用を実施し、子育て家庭の支援を行いました。平成30年度は2施設でしたが、令和4年度には5施設に拡大し、5年間で延357人の利用がありました。

令和3年6月に「麒麟のまち圏域における新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施に関する協定」を締結し、圏域内の住民は、圏域内の住民票所在地外の協力医療機関での接種を可能としました。これにより、令和4年度末までの間で、圏域内の住所地以外での接種件数は、11,410件となり、ワクチン接種に係る圏域住民の利便性向上を図ることができま

した。

②介護

鳥取県東部の1市4町で協働して鳥取県東部医師会へ委託し、在宅医療・介護連携推進事業を実施しました。また、香美町、新温泉町を含めた圏域全体で、病院や介護施設でも使用できるACP（アドバンス・ケア・プランニング）ノートを共同作成し、普及啓発を行いました。

③福祉

平成29年11月に開始した「鳥取市地域食堂ネットワーク」での「地域食堂」への支援を、平成30年12月から鳥取県東部にも食材の運搬・提供などの支援を拡大しました。令和3年度には、民間資金を活用して、全国各地から届く食材等を圏域内に配布するための拠点（鳥取市、八頭町、新温泉町）に業務用冷蔵庫・冷凍庫を設置するとともに、物流ネットワークへの構築を図ってきました。

また、鳥取市社会福祉協議会が行う各種相談事業を、圏域住民に拡大して実施するとともに、鳥取県東部聴覚障がい者センターの活用や地域活動支援センターの運営など、障がいのある人の支援を行いました。

④教育・文化・スポーツ

圏域内に居住する人は誰でも、圏域内の公共図書館で資料を借りられる相互利用を実施し、圏域内での読書活動の推進と利便性向上を図りました。また、令和4年12月には、鳥取市電子図書館を開始し、図書館に来られない方も図書館サービスを受けられるとともに、文字の大きさ変更や、自動読み上げ機能などにより、障がいのある方などの読書環境の向上に資することができました。

また、圏域住民を対象としたスポーツ大会や生涯学習講座を開催しました。

⑤地域振興

麒麟のまち圏域を構成する1市の6町の首長で、圏域の一体的かつ持続的な発展を目指して行う連携事業等について、協議を行いました。また年に1回、圏域各市町の議会議長も加わって、意見交換を行うサミットを開催しました。

また、「とっとりふるさとリーダーアカデミー」を開催し、圏域内での交流も図りながら各種ゼミや成果発表会を開催し、地域活性化に取り組む人材を養成しました。

⑥災害対策

平成30年5月に「麒麟のまち創生戦略会議災害時総合応援協定」を締結し、災害発生時に、被災市町が独自では十分な応急措置を実施できない場合には、相互に応援協力し、被災

市町の災害応急対策、災害復旧及び災害からの復興を円滑に遂行することとしました。この協定に基づき、新型コロナウイルスの第7波の感染拡大時期であった令和4年7月～9月にかけて、鳥取県東部4町から鳥取市保健所に保健師の派遣を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止に連携して取り組みました。

また、圏域内の防災担当者との顔の見える関係を構築し、避難所運営研修等を毎年実施することで、圏域の防災力を向上することができました。

⑦環境

生ごみたい肥化やコンポスト導入に関する支援を実施しました。圏域市町で、ごみ減量化に取り組み、可燃ごみの処理量は減少傾向にあります。

⑧地域公共交通

圏域内の公共交通網の維持・確保に向け、利便性向上や利用促進の取組を行いました。

若桜鉄道の利用促進では、イベント助成や観光列車「昭和号」「八頭号」「若桜号」を活用した商品開発やオリジナルグッズの製作、高校生への通学定期の補助などを行いました。令和4年度には、若桜鉄道、JR因美線、路線バス若桜線の共通パスの導入実験を行い、利便性向上に向けた検証も行いました。

自家用車による通勤から路線バスを中心とした公共交通機関を利用した通勤への転換を図るため、公共交通利用促進キャンペーンや、麒麟のまち「ノルデ運動」を実施しました。

また、令和4年4月にJR西日本が輸送密度の低い路線区間の収支情報等を公表されたことを受け、全国知事会長である鳥取県知事に対して、JRローカル線の維持・存続に関する要望を行いました。

⑨ICTインフラ整備

ケーブルテレビを有する圏域市町で、各市町の話題やイベント情報等を相互に放送し、圏域内での相互理解や地域間交流の促進を図りました。

また、情報施策関連の職員研修を開催し、圏域各町からも参加いただきました。

⑩地域内外の住民との交流・移住促進

令和元年3月に、鳥取市が設置した「すごい！鳥取市麒麟のまち婚活サポートセンター」の対象を麒麟のまち圏域に拡大し、名称も「麒麟のまち婚活サポートセンター」に変更して、圏域全体で、男女の出会いの場を提供するなど婚活支援に取り組みました。平成30年度から令和4年度までの取組では、カップル成立数482組、会員同士の成婚数31組となりました。

また、都市部で開催される全国規模の移住相談会に合同で出展するとともに、鳥取市出身の石浦関（現：間垣親方）に御協力いただいた移住促進イベントやワーキングホリデー、移

住セミナーや移住体験ツアーを開催し、圏域への移住促進を図りました。また、鳥取市において、鳥取市移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」を構築し、鳥取市のみならず、圏域各町のまちの魅力や空き家情報など、移住関連情報を発信しました。平成30年度から令和4年度までの圏域への移住者数の合計は3,516人となりました。

⑪ その他の結びつきやネットワークの強化に係る連携

圏域各市町の広報誌にリレー記事を掲載し、圏域住民の交流促進や一体感の醸成をはかりました。

また、SNSや電子雑誌、ラジオ番組、広報誌など、様々な手法で圏域の魅力発信や観光誘客の促進を図りました。新型コロナウイルスが感染拡大し始めた際には、「麒麟のまちパートナーステッカー」を作成・配布し、圏域内の一体感を高めるとともに、来訪者へのおもてなしの心のPRを行いました。また、感染拡大防止と圏域内周遊の両立を図りながら「食べる！麒麟のまちグランプリ」等を実施しました。

⑫ 人材の育成

圏域内職員の資質・能力向上や職員交流を目的に、OJT研修やCS（住民満足度）向上研修、新規採用職員研修等を行ってきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年度、3年度は合同研修を中止としました。令和4年度からは、オンラインを活用しながら合同研修を開催しました。

⑬ 外部からの行政及び民間人材の確保

令和2年4月に鳥取市にある大丸百貨店（現：丸由百貨店）5階に移転した鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」を情報発信拠点として、圏域の男女共同参画に関する取組を紹介するとともに、年4回程度、連携して啓発講座等を開催しました。

⑭ 圏域内市町村の職員等の交流

各自治体における建物点検、住民の安全確保に役立てていただくことを目的に、鳥取市の技術職員による「事務職員でも実施可能な建物点検についての実地研修」を実施し、圏域各町職員も参加しました。

3 第1期ビジョンの総括と今後の取組

第1期ビジョンでは、地域連携 DMO「一般社団法人 麒麟のまち観光局」による周遊観光の促進や、麒麟のまち圏域に伝わる「麒麟獅子舞」をはじめとする構成文化財を生かしたストーリーの日本遺産認定を実現し、圏域の賑わい創出や交流促進につなげました。

また、病児・病後児保育事業や公立図書館の相互利用、新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施など、圏域住民の利便性向上を図るとともに、災害時相互応援協定の締結など、圏域住民の暮らしを守る取組も進めてきました。

圏域人口の推移をみると、社会動態の減少幅が縮小するなど、一定の効果は見られるものの、人口減少に歯止めはかかっておらず、自然災害の激甚化・多発化やデジタル化の進展、SDGsの取組など、圏域を取り巻く社会情勢に的確に対応していく必要があります。

令和5年度開始の第2期ビジョンでは、引き続き、構成市町で緊密に連携を図りながら、圏域全体の一体的かつ持続的な発展を目指して取組を進めていきます。

4 連携事業の取組結果

No.	役割	連携施設	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
1	ア 圏域全体の 経済成長の けん引	新規創業促進、 地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	ビジネスサポート体制 検討事業	全市町	ビジネス課題事例研究数 (件)	0 (H28)	4 (R4)	5 (R4)	125.0%	<p>【鳥取市】 コロナ禍により「外国人留学生就労支援事業」の全面実施が困難であったが、令和4年度は、少人数・小規模で個別対応型のウィズコロナ型として再開している。 引き続き、各種外部要因に即した形での事業を実施していく。</p> <p>【八頭町】 コロナ禍で事業の中止や規模縮小の年度もあったが、実施形態を工夫しながら、起業機運醸成等ビジネスサポートを図った。 引き続き、起業件数を増やすためセミナーを継続して実施するとともに、既に起業した者のフォローにも繋げられるような実施内容の検討も行う。</p> <p>【若桜町】 近年は新型コロナウイルスの影響で事業実績は無いが、コロナ禍が明け、今後外国人労働者の来日が増えることが予想されるため、連携中枢都市圏の自治体と連携しながら事業実施者の増加に取り組みたい。</p>
2			起業・創業 支援事業	全市町	創業者数 (人)	115 (H28)	115 (R4)	100 (R4)	87.0%	<p>【鳥取市】 まちづくり投融资は、累計6件の利用があり、一定の成果があったものと考えている。令和4年度末で制度の終期となったが、取り扱いを3年延長し、更なる起業創業を図る。</p> <p>【若桜町】 毎年一定数の事業希望があり、町内の事業者により新規事業が行われており、今後も事業を継続予定である。 平成30年度から令和4年度まで、毎年度補助を実施し合計で34件の起業創業の補助を実施、起業に際しての支援を実施。</p> <p>【八頭町】 補助金活用の要望・問い合わせもあるため、必要な支援に対し補助内容が適当か精査しつつ、引き続き起業創業に対する補助事業を実施したい。</p> <p>【香美町】 例年2件程度ではあるが実績はあり、一定の創業支援は実施できていると捉えている。令和4年度末に更なる利用促進と支援強化策として要綱の一部改正を実施。(補助対象経費300万円以上を削除、補助金の率を2分の1に変更)</p> <p>【新温泉町】 平成30年度から令和4年度までの取組みで、創業者数は29人となり、徐々に増加している。引き続き、商工会等と連携しながら創業支援を行っていく。</p>
3			圏域内の事業者に向けたセミナー 開催事業	全市町	セミナー参加者数 (人)	75 (H28)	132 (R4)	59 (R4)	44.7%	<p>目標を達成できなかったが、DXセミナーをはじめとする生産性の向上、経営改善等につながるセミナーを開催。 今後も、企業の抱える課題の把握に努め、ニーズに応じたセミナーを開催し、地元企業の活力と魅力の向上を図っていく。</p>
4			地域商社活用事業	全市町	新規取引業者数 (生産団体も含む)	10 (H28)	35 (R4)	12 (R4)	34.3%	<p>圏域内での新規取引先数自体は当初目標として設定した数値に届かなかったが、地元取引事業者との緊密な連携を進めながら、継続性・実効性を重視した販路開拓活動を行っている。 今後も現在の活動を発展させ、地域商社としての役割を担っていく。</p>

No.	役割	実施	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
5	ア 圏域 全体 の 経済 成長 の けん 引	地域 資源 を 活用 した 地域 経済 の 裾野 拡大	関西事務所 運営事業	鳥取市、 八頭町	企業訪問件 数 (件)	60 (H28)	85 (R4)	149 (R4)	175.3%	<p>【鳥取市】 関西事務所は、これまでに鳥取自動車道、山陰道鳥取西道路の開通時の関西圏でのPR強化、平成29年4月に大阪中之島に設置した関西圏情報発信拠点「麒麟のまち」を活用した情報発信、販路拡大のほか、企業誘致、移住定住の相談業務などを行ってきた。 今後は関西地域における総合的な窓口として活動するとともに、2025大阪・関西万博を契機としたPR強化を行う。</p> <p>【八頭町】 八頭町関西事務所を設置し、関西圏の企業・自治体等訪問により、圏域への企業誘致や観光情報の発信を図った。 引き続き関西事務所を設置し、更なる企業誘致及び観光情報発信による関係人口創出等に努める。</p>
6			広域的道路 網整備促進 事業	全市町	要望活動数 (回)	4 (H28)	8 (R4)	7 (R4)	87.5%	<p>令和元年5月12日には山陰道鳥取西道路、令和4年3月12日には播磨自動車道(播磨新宮IC~宍粟JCT間)、令和5年3月12日には岩美道路(浦富IC~東浜IC間)が開通するなど、道路網の整備が図られた。 また、山陰近畿自動車道(鳥取~覚寺間=通称:南北線)の都市計画決定へ向けての動きや浜坂道路II期(居組IC~新温泉浜坂IC間)の事業推進が図られた。 引き続き、期成会を通じた要望活動を実施し、未整備区間の早期事業化や事業中区間の整備推進を図る。</p>
7			森林保全推 進事業	全市町	鳥取・因幡 圏域の間伐 面積 (ha)	1,416 (H28)	1,734 (R4)	882 (R4)	50.9%	<p>大雨や豪雪による影響によりKPI目標は達成できなかったが、作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等を支援し健全な森づくりを推進してきた。 引き続き補助事業による森林整備の推進を図るとともに、森林環境譲与税を活用した新規事業の検討についても取り組む。</p>
8			林業従事者 支援事業	全市町	林業労働者 雇用条件改 善事業実施 者数(各年 毎健康保 険・農林年 金への補助 者数) (人)	43 (H28)	43 (R4)	39 (R4)	90.7%	<p>林業労働者は概ね計画どおり確保されていると考えている。 引き続き移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るための支援を行う。</p>
9			稚貝・稚魚 放流事業	全市町	放流数 (ト ン)	7 (H28)	6 (R4)	7 (R4)	112.3%	<p>計画的に事業を実施し、目標数を確保している。 内水面のアユ遡上量に増加の兆しが見えており、今後は放流時期や場所についても検討を重ね、引き続き資源管理を図る必要があると考える。</p>
10	漁業雇用促 進対策事業	鳥取市、 岩美町、 香美町、 新温泉町	研修実施者 数(各年 毎) (人)	52 (H28)	52 (R4)	24 (R4)	46.2%	<p>新型コロナウイルスの影響により研修希望者との面談等が実施できずKPI目標は達成できなかったが、漁業者の減少・高齢化が進む中で就業者確保につながり繋がる重要な支援と考えている。 引き続き就業支援を行い新規就業者の確保を図るとともに、移住希望者等へ情報発信や新たな支援の検討についても取り組む。</p>		

No.	役割	実施	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
11	ア 圏域全体の 経済成長のけん引	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	特産品生産促進支援事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	白ネギの作付面積 (ha)	60 (H28)	80 (R4)	59 (R4)	73.8%	みんなでやらいや農業支援事業（がんばる地域プラン）により、圏域全体での白ネギの産地化・生産振興を図ってきた。 事業終了後も引き続き、特色ある農産物やブランド農産物等、地域・産地に適した農産物、加工品の生産拡大と産地育成を総合的に行い、生産者等の生産意欲向上と圏域全体の農業振興に取り組むこととしている。
12			農産物販路拡大支援事業	全市町	関西圏での合同直販市の開催 (回)	1 (H28)	2 (R4)	1 (R4)	50.0%	引き続き、商談会の開催や催事等への出展、マルシェの開催等により新たな販路開拓を行っていくとともに、首都圏や関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、産地化への取組を推進していく。 (これまでの成果) 【鳥取市】 ・大阪中之島での圏域農産物マルシェ開催 ・現地商談会の開催 【若桜町】 ・地元特産品として、米やエゴマの販路拡大を検討 【智頭町】 ・農産物販売促進イベント開催に係る経費助成 ・農産物販路拡大に係る加工品生産機材導入経費助成
13			地域おこし協力隊導入事業	全市町	地域おこし協力隊配置数 (人)	43 (H28)	38 (R4)	28 (R4)	73.7%	今後も都市住民を受け入れ「地域おこし協力隊」に委嘱し、中山間地域の地域活性化に取り組むとともに、あわせて、本市への隊員の定住・定着を図る。
14			農業担い手育成塾運営事業	全市町	登録会員数 (人)	0 (H28)	117 (R4)	14 (R4)	12.0%	令和4年度はコロナの影響により一部中止していた関係機関との現地巡回を再開することができた。今後も引き続き現地巡回等を実施するとともに、新規就農者を対象とした研修会等を開催していく。 【若桜町】 地域おこし協力隊制度を活用した新規就農に取り組んでいるが、採用には至っていない。令和5年度も引き続き、関係機関と連携して取り組みたい。
15			農業IT化促進事業	全市町	研修会延べ参加者数 (人)	0 (H28)	110 (R4)	43 (R4)	39.1%	農作業の負担軽減や技術伝承に資する農業機械・設備（スマート農機）や、パソコン、タブレット等の電子機器で作業管理や環境を測定する生産管理システム等の導入を行う農業者の支援や直営にて自走式草刈機や乗用草刈機を導入、土地の形態に合せ遊休農地解消を効率的に行った。今後も、省力・効率化を目標にスマート農業機器を普及拡大させ担い手ほか新規農業参入を促進し圏域の農業振興を図る。 【鳥取市】 認定農業者等にGPS直進アシスト機能付きトラクター他スマート農業用機械の導入支援を行った。また、防除作業効率化のためドローン操縦士資格取得支援を行った。 【岩美町】 農業担い手研修会を開催し、「スマート農業の現在・将来」というテーマで講習を行った。 【若桜町】 GPS直進アシスト機能付きトラクターの導入支援を行った。今後も認定農業者に対し、スマート農業用機械の導入を推進する。 【智頭町】 令和3年度：乗用草刈機を導入 令和4年度：自走式草刈機を導入 今後は、導入した2種類の草刈機で、様々な条件の農地を包括的に網羅することを想定（JAに無償貸与し業務委託）

No.	役割	連携	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
16	ア 圏域 全体 の 経済 成長 の けん 引	地域 資源 を 活用 した 地域 経済 の 裾 野 拡大	麒麟獅子舞 を生かした 圏域活性化 事業	全市町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	令和元年5月に麒麟のまち圏域によるストーリー『日本海の風が生んだ絶景と秘境 幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」』が日本遺産に認定された。 これを受け、1市6町で構成する「麒麟のまち推進協議会」を中心に情報発信、商品造成、普及啓発などの取組を推進することにより、日本遺産や、麒麟獅子舞の圏域内外への浸透に寄与した。 今後も引き続き、1市6町が連携し、日本遺産を生かした地域活性化の取組を推進していく。
17			麒麟のまち 関西情報発 信拠点での 情報発信等 エリアプロ モーション 推進事業	全市町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	平成29年4月のオープン以来、広域連携によるエリアプロモーション事業を展開した結果、約30万人の来場者数があり、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大の拠点施設の役割を担ってきた。今後はコロナ禍で減少した来場者数、売上の回復に努めながら、麒麟のまち圏域の情報発信拠点の役割を継続するとともに、2025大阪・関西万博を契機としたエリアプロモーション強化を行う。
18			インター ネット ショップ推 進事業	全市町	出店店舗数 (店)	110 (H28)	152 (R4)	201 (R4)	132.2%	KPIは目標を達成。コロナ禍において実施した国交付金を活用した各種キャンペーンが、参加店舗増加の主要因の一つであるため、国交付金を活用しない状態でのベースアップの継続が必要である。 今後は、これまでの売上向上施策のブラッシュアップを行うとともに、出店店舗などのフォローアップを継続し、取組内容や運営体制のブラッシュアップを図り、サイトそのものの魅力向上を図っていく。
19			鳥取市公設 地方卸売市 場再整備・ 活用事業	全市町	取扱高 (千 円)	8,561,077 (H28)	7,340,755 (R4)	6,978,902 (R4)	95.1%	KPIは目標を達成できなかったが、令和7年度の全面供用開始に向け、令和4年度に設計施工の一括発注での再整備事業を開始した。工損調査等の付帯事業を実施するとともに、機能面を強化した内容での基本設計と一部棟の実施設計を終え、施工ローテーションを確定した。 この設計を踏まえ、令和5年度には一部棟の施工を行うとともに、全施設の実施設計を終え、施工ローテーションを踏まえながら、全面供用開始を行う。 今後も、引き続き再整備事業を進捗することで、機能面の強化を実現する。
20			物産振興体 制強化事業	全市町	ふるさと物 産館での購 入客数 (人)	10,251 (H28)	13,165 (R4)	8,945 (R4)	67.9%	KPIは目標を達成できなかったが、令和元年度11,616人から、コロナ禍により令和3年度6,936人まで落ち込んでいた購入客数は、令和4年度8,945人まで回復している。 引き続き、アフターコロナに向け、麒麟のまち圏域に拡充した物産会員数を増加することで、店頭、出展、掛売・客注・ネット販売のラインナップを充実させ、ふるさと物産館の魅力の向上を図り、購入客数の増加を図る。
21	駅前太平線 バード・ ハット利用 促進事業	全市町	利用回数 (回)	0 (H28)	2 (R4)	2 (R4)	100.0%	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施件数が減少傾向にあるが、令和3年度以外では、KPIの目標を達成しており、交流人口の増加や地域振興に寄与した。 今後も、引き続き、麒麟のまち圏域内各市町村の地域振興に関するイベント開催に向け積極的に呼びかけを行うなど、利用件数向上に努めていく。		

No.	役割	連携	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
22	ア 圏域 全体の 経済成長 のけん引	戦略的 な観光 施策	地域連携DMO 「一般社団 法人麒麟の まち観光 局」支援事 業	全市町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	新型コロナウイルス感染症の影響によりKPIとする圏域の観光入込客数は達成できていないが、アフターコロナを見据えた情報発信体制の強化や、観光体験商品の販売促進に取り組んだ。加えて、大阪・関西万博に向けて3つのDMOが連携した周遊ルートの造成は関西～鳥取間の広域観光周遊ルートの基盤づくりにつながった。 今後は、宿泊データ分析システムや観光CRMアプリの導入による観光DX化に取り組むことで圏域の観光消費拡大を図っていく。
23			国道29号周 辺兵庫・鳥 取地域振興 協議会支援 事業	鳥取市、 若桜町、 八頭町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会では、国道29号沿線でジビエ等の食材を活用した肉グルメのイベントを実施することにより、国道29号をニク(29)ロードとして情報発信し、観光客の誘致及び交流人口の拡大を推進した。 また、日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会では、インスタ投稿キャンペーン等を行うことで沿線の魅力を広く発信するとともに新たな観光資源の発掘を行った。 今後も、各市町が連携することで沿線地域のさらなる活性化を図る。
24			鳥取自動車 道活性化協 議会支援事 業	鳥取市、 岩美町、 若桜町、 智頭町、 八頭町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	SNSの普及や個人旅行の増加など近年の観光動態を鑑み、令和4年度はWEBでのパンフレット発信やInstagram・YouTube等のSNSを活用した情報発信を行った。 今後も地域の学生等と連携をしながら、鳥取自動車道周辺地域の魅力ある場所の魅力発信を行っていく。
25			外国人観光 客受入事業	全市町	国際観光客 サポートセ ンターの利 用者数 (人)	10,000 (H28)	13,000 (R4)	1,902 (R4)	14.6%	台湾を中心とした東アジア圏域へのプロモーションを継続して行ってきたことで、ウィズコロナのインバウンド需要が少しずつ回復傾向にある。 アフターコロナを見据え、引き続き東アジア圏域へのプロモーションを行うとともに、欧米豪富裕層向けのプロモーションにも取り組む。
26			因幡・北但 西部周遊バ ス運行支援 事業	全市町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	近年は、参加人数や参加地域を限定して運行していたこともあり、地元住民の参加が目立ちマイクロツーリズム化していた。 R4年度はコロナ前と同様に地域の制限をなくしたこともあり、県外からの参加者も少しずつ戻ってきている。 今後は新規コースを開拓し、他地域からの観光誘客を図る。
27			浦富海岸・ 鳥取砂丘エ リア観光二 次交通運行 協議会支援 事業	鳥取市、 岩美町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	エリア内の観光地を巡るバスツアーを実施することで新たな客層の誘致を図り、観光振興に寄与した。 当該バスは製造から相当の年数が経っているが、必要な修繕や部品交換を実施することで可能な限り長寿命化を図り、引き続き新規顧客獲得等のためバスツアーを実施していきたい。
28			山陰海岸ジ オパークを 活用した広 域観光推進 事業	鳥取市、 岩美町、 香美町、 新温泉町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	パンフレットの印刷・配架や看板の整備等により、山陰海岸ジオパークの普及啓発に取り組んだ。また、ガイド養成講座や交流会の実施により、圏域のガイド団体の連携やジオツーリズムの受け入れ態勢が強化された。 令和6年に予定される世界ジオパークの再認定審査に向け、引き続き普及啓発、ジオツーリズムの推進に努める。

No.	役割	実施	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
29	ア 圏域全体の 経済成長の けん引	戦略的な 観光施策	観光大学運 営・活用事 業	鳥取市、 岩美町、 若桜町、 智頭町、 八頭町、 新温泉町	観光マイス ター新規認 定者数 (人)	40 (H28)	40 (R4)	18 (R4)	45.0%	令和元年度以降は、受講者の募集範囲を麒麟のまち圏域へ拡大し、圏域全体でのホスピタリティ向上を目指し、同事業に取り組んだ。コロナ禍の影響を受け受講者の数は減少しているが、通算して562名のマイスター認定となっている。 今後は講義内容の見直しにより受講生の増加を目指し、観光客へのおもてなし向上を図る。
30			砂のルネッ サンス連携 事業	全市町	圏域への観 光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	砂像文化の醸成と砂の魅力の可能性を広げることを目的に、市民が中心の実行委員会が中心となり、砂像制作や砂場教育の体験会を実施した。 今後は鳥取砂丘の砂の魅力をより多くの人へ伝え、砂像や砂文化の普及を図っていく。
31		係 その他、 圏域全 体の 経済成 長の けん引	若者の地元 定着促進事 業	全市町	企業見学会 参加人数 (人)	650 (H28)	840 (R4)	730 (R4)	86.9%	KPIは目標を達成できなかったが、県内高校生の70%以上が進学し、その多くが県外へと進学する状況において、進学前の進路選択前の段階で地元企業の事業や魅力について知ってもらい取り組みを実施している。更に実施高校を増やし、地元企業の認知度向上に向けて取り組む。
32			国際経済交 流推進事業	全市町	インパウン ド需要取り 込みに向け た観光パン フレットな どの翻訳支 援件数 (件)	141 (H28)	166 (R4)	43 (R4)	25.9%	市内事業者の身近な貿易相談・サポート窓口となっている。 アフターコロナでは、経済交流が活発になると思われるため、外国人コーディネーターの力を活かし、引き続き相談、翻訳・通訳等の対応による市内事業者の支援ができるよう取り組んでいく。

No.	役割	連携	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
33	イ 高次の都市機能の集積・強化	高度な医療サービスの提供	鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険智頭病院の地域医療研修協力事業	鳥取市、岩美町、智頭町	本事業を継続して実施	実施 (H28)	継続 (R4)	継続 (R4)	達成	平成30年度・令和元年度・令和4年度に初期研修医がそれぞれ1か月間の地域医療研修を行っている（令和2年度・令和3年度には該当する研修医がおらず実績なし。）。今後も事業継続し、地域に必要な医師の養成に努める。
34			鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の医師の相互派遣事業	鳥取市、智頭町	本事業を継続して実施	実施 (H28)	継続 (R4)	継続 (R4)	達成	市立病院から医師派遣を行い、智頭病院での診療を継続して行っているほか、マンモグラフィの二次読影業務を行っている。今後も地域医療を確保するため、それぞれ医師が充足していない診療科に相互に医師派遣を行っていく。
35			鳥取市立病院、公立浜坂病院の相互連携事業	鳥取市、新温泉町	本事業を継続して実施	実施 (H28)	継続 (R4)	実施なし (R4)	—	令和2年度及び令和3年度に市立病院から公立浜坂病院への医師派遣（整形外科・総合診療科）を実施。情報共有等についての具体的な事業はなく、公立浜坂病院からの申し入れがあり公立浜坂病院医師が充足しているため令和3年度末をもって事業を休止している。
36			鳥取市夜間・休日急患診療所運営事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	急患診療所の開所	開所 (H28)	継続 (R4)	継続 (R4)	達成	急患診療所の運営（鳥取県東部医師会へ委託）により、夜間及び日曜、祝日等の休日に、急な診察を必要とする患者が診察を受けることができている。引き続き事業を継続し、夜間・休日の1次救急医療体制を確保する。
37			病院群輪番制運営支援事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	病院群輪番制の実施	実施 (H28)	継続 (R4)	継続 (R4)	達成	休日における2次から3次救急医療体制の確保ができている。今後も対象病院の輪番日運営に対する支援を継続する。
38			ドクターカー導入検討事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	研究する	— (H28)	研究 (R4)	研究 (R4)	達成	ドクターカー導入について検討し、鳥取市立病院が担う二次救急の場においてはドクターカーの需要が考えにくいこと、救急科の専門医師がおらず、また、ドクターカーを導入するに足る医師の確保は困難であることからドクターカーの導入は困難と結論づけた。

No.	役割	連携	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
39	イ 高次の都市機能の集積・強化	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	全市町	東京便の搭乗者数(人/年)	353,541 (H28)	400,000 (R4)	285,314 (R4)	71.3%	新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波の感染拡大はあったものの、年度を通じて航空機の減便措置が無くなり、全国旅行支援や国外からの入国制限の緩和など旅行需要の高まりに加え、地道な利用促進活動の展開が功を奏し、空港利用者は回復傾向にある。 さらなる利用者の増加に向け、鳥取空港の利用を促進する懇話会を中心とした各種キャンペーン等の利用促進策の実施や2次交通の検討などに取り組む。
40			公共交通機関のパスカード、ICカードの発行・運用検討事業	全市町	研究・検討会議の実施(回)	0 (H28)	2 (R4)	4 (R4)	200.0%	令和5年4月から鳥取市100円循環バスくる梨に全国相互利用可能な交通系ICカード「ICOCA」を導入するとともに、鳥取バスターミナルにおいてICOCAを購入できる環境整備を行った。これを契機として他の公共交通機関についてもキャッシュレス化が進むよう各方面への働きかけを行う。
41			山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業	全市町	国等への要望活動回数及びシンポジウム等開催回数(回)	2 (H28)	2 (R4)	1 (R4)	50.0%	令和元年10月に「山陰新幹線の早期実現を求める舞鶴大会」を参加者約330名を集めて開催するなど沿線地域の機運醸成が図られた。 引き続き、要望活動やPR事業を通じた沿線地域の機運醸成、全国の他の新幹線整備期成同盟会等との連携強化を図るなど、整備計画格上げに向けた取組を推進する。
42	高等教育・研究開発の環境整備	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携事業	全市町	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動と関係市町との連携事業数(事業)	2事業(1市1町) (H28)	全市町で1事業以上実施 (R4)	2 (R4)	200.0%	コロナ禍の影響を受け、意見交換など実施を見送ったこともあるが、圏域自治体や関係団体等と連携し、意見交換を行うことで、地域振興策等の検討を図った。 今後も取組を継続し、各自治体や各種団体と協力しながら圏域の活性化を図っていく。	

No.	役割	連携施設	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
43	ウ 圏域 全体の 生活 関連 機能 サー ビス の 向 上	地域 医療	看護・医療系人材の育成・確保事業	鳥取市、岩美町、智頭町	看護職員実習指導者養成講習会の受講者数(人/年)	13 (H28)	12 (R4)	10 (R4)	83.3%	コロナ禍の影響を受け、KPIは目標を下回っているが、H30～R4の5年間で累計33人(19施設)が補助金を活用した。H25に開始した事業でありR4年度で10年目となり、一定の効果が得られたと考えるため、連携事業としては終了する。 県の看護師人材育成に関わる支援として、鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金のメニュー拡大により対応いただくよう県へ要望していく。
44			医療への関わり方の圏域住民への周知事業	全市町	継続して実施する。	実施 (H28)	継続 (R4)	継続 (R4)	達成	令和元年度まではさざんか会館での「市民医療講演会」集会所等での健康づくり講演会を開催した。令和2年度以後は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため講演会形式は中止(令和4年9月から再開)し、ケーブルテレビ放送により講演内容を視聴していただく形式をとった。 今後も事業を継続し、地域住民への医療のかかわり方(健診受診・適性受診など)、介護の現状などについて圏域住民への周知を図っていく。
45			病児・病後児保育事業	全市町	本事業を継続して実施	実施 (H28)	継続 (R4)	継続 (R4)	達成	平成30年度から令和4年度までの5年間で、対象施設は2施設から5施設に増え、延べ357人の利用があった。 今後も本事業を継続し、保護者の子育てと就労等の両方を支援するとともに児童福祉の増進を図る。
46			障がい者歯科診療所運営支援事業	全市町	継続して実施する。	実施 (H28)	継続 (R4)	継続 (R4)	達成	口腔ケアの重要性や関心が高まる中において、一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児(者)の歯科保健指導・歯科診療に繋げることが出来た。 引き続き、障がい児(者)の口腔健康の維持・向上を図る。
47			麒麟のまち圏域における新型コロナウイルスワクチン接種の共同実施事業	全市町	継続して実施する。	-	継続 (R4)	継続 (R4)	達成	令和3年6月1日より新型コロナワクチン接種の共同実施を開始した。令和3年度における住民票所在地外の協力医療機関での接種件数は6,701件、令和4年度は4,709件であり、多くの圏域内住民への円滑なワクチン接種及び接種に係る負担軽減を図ることができた。 現在、国における予防接種の実施期間は令和6年3月31日までとなっており、本事業は令和5年度で終了する見込みである。ただし、今後、実施期間が令和6年度以降に延長された場合は、本事業も継続する必要がある。
48	介護	圏域内での在宅医療・介護連携の推進事業	全市町	在宅医療・介護連携推進事業の実施(実施事業数)	全8事業 (H28)	全8事業 (R4)	全8事業 (R4)	達成	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取県東部1市4町は協働し、鳥取県東部医師会へ事業委託し事業を実施し、KPIの目標(全8項目を実施)は達成した。 ●新温泉町及び香美町を含めた1市6町でACPノート(改訂版)を共同作成し、関係者及び住民に対しACPの普及啓発を実施した。 ●鳥取県東部で実施する多職種研修会に美方郡関係者も参加した。 <p>●今後もオンライン等を活用しながら、圏域内での在宅医療・介護連携の推進のため、関係者の研修、住民啓発等の事業を継続実施する。</p>	

No.	役割	実施	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
49	ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	福祉	社会福祉協議会各種相談事業	全市町	社会福祉協議会各種相談件数 (件/年)	118 (H28)	110 (R4)	211 (R4)	191.8%	弁護士や司法書士などの有資格者を専門相談員として配置することで、問題解決力を強化し、一般相談（心配ごと相談）だけでなく、多様化する相談への対応を行った。 また、広報誌での情報発信、各種研修等へ向うき、事業の周知やニーズの把握を行った。 引き続き、ニーズに即した相談体制の維持を実施。
50			鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	手話奉仕員養成研修受講者数 (人/年)	34 (H28)	34 (R4)	29 (R4)	85.3%	聴覚障がい者への手話通訳者等の円滑な派遣や、それを支える手話奉仕員等の養成など、必要とされる際にいつでも対応を可能とするような環境づくりに努めた。 聴覚障がい者にとって必要な支援であり継続していく。
51			保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施事業	全市町	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施、積極的な研修参加案内 (回/年)	2 (H28)	3 (R4)	2 (R4)	66.7%	KPIは目標を達成できない年もあったが、圏域の保育者等を対象として研修を実施し、発達に困難を抱える児童に対する支援を行った。 今後も、障がい児等支援に関する理解を深めるための研修を実施し、児童の発達支援の向上・充実を図る。
52			点訳朗読奉仕員養成研修事業	全市町	点訳朗読奉仕員養成講座受講修了者数 (人)	5 (H28)	5 (R4)	0 (R4)	0.0%	点訳・朗読奉仕員の養成に実施により、毎年修了者が増えるとともに受講後に地域グループやボランティアとして活動に繋がっている。修了者の更なるレベルアップを推進する。
53			地域活動支援センター事業	全市町	年間延べ参加者数 (人)	6,500 (H28)	6,500 (R4)	4,010 (R4)	61.7%	障がいのある人が集える場を提供し、交流活動等を行うことで、生き生きと活力あふれる、自立した生活へとつながった。 引き続き、継続して支援していく。
54	地域食堂支援事業	全市町	地域食堂ネットワークで支援する「地域食堂（こども食堂）」数	4 (H28)	29 (R4)	30 (R4)	103.4%	地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組む「地域食堂（こども食堂）」とそれを支援する各団体を結びつける役割を担う「鳥取市地域食堂ネットワーク」を中間支援組織として強化し、圏域において効果的な支援を行うための事務局体制の確立・強化を図ってきた。 令和4年度も、引き続き、民間資金を活用して、全国各地から届く食材等を圏域内への配布するために拠点として、業務用冷蔵庫・冷凍庫等を設置するとともに、圏域の関係者の協力を得て物流ネットワークの構築を図った。 今後、「地域食堂ネットワーク」の更なる拡充・組織体制の強化を図り、生活困窮者や高齢者等、様々な立場の方への支援の浸透・充実を図る。		

No.	役割	連携先	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
55	ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	教育・文化・スポーツ	博物館施設等活用連携事業	全市町	博物館施設等活用連携事業実施回数(回/年)	0 (H28)	6 (R4)	7 (R4)	116.7%	第1期ビジョンの計画期間(H30~R4)では、平均すると概ね年7回程度の利用があり、KPIは達成しているものの、鳥取市内の利用しかなく、事業実施も鳥取市のみであるため、連携事業としては終了する。
56			圏域の文化財情報連携事業	全市町	圏域文化財情報公式ウェブサイトページのアクセス数(件)	3,000 (H28)	3,400 (R4)	0 (R4)	0.0%	『鳥取市歴史文化基本構想』策定に伴い鳥取市分のフォーマットの設計が可能となり、コロナ禍の影響も軽減されるため、今後実現に向けた協議を進める。
57			森のようちえん運営・活用事業	鳥取市、智頭町	森のようちえんへの入園を目的とした移住者の数(人)	47人(H22~26) (H28)	120 (R4)	115 (R4)	95.8%	令和4年度に鳥取市の1園が認定こども園となったことで対象外となったが、入園を目的とした移住者は1名増え、これまでも毎年増えている。 今後も本事業を継続し、子どもたちが心身ともに健やかに育つ環境整備等を支援するとともに移住者の増加を図る。
58			麒麟のまち交流スポーツ大会事業	全市町	参加者数(人)	159 (H28)	280 (R4)	3,122 (R4)	1115.0%	麒麟のまち圏域内から参加者を募るスポーツ大会やイベントの開催により、多種多様なスポーツに圏域住民が親しむ機会の創出を支援し、麒麟のまち圏域内のスポーツの振興、圏域の活性化を図ることができた。 今後もスポーツの多様化が進むなど、本市が主催する既存の大会では、対応しきれない競技種目の増加が見込まれることから、より一層の官民連携を行いスポーツ振興を図る必要がある。
59			国際理解推進交流事業	全市町	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数(回)	87 (H28)	106 (R4)	65 (R4)	61.3%	KPIは目標を達成できなかったが、コロナ禍以降の令和2年度から令和4年度までの取組で、派遣回数、派遣事業参加人数ともに、コロナ禍以前の水準に戻りつつある。 引き続き、市内の小学校、公民館での派遣回数を増やすとともに、圏域における派遣事業の周知を進めることで、さらなる国際理解の推進につなげられるよう取り組む。
60			公共図書館の相互利用事業	全市町	在住外登録者の利用冊数(総人口100人当たり)(冊)	9 (H28)	10 (R4)	14 (R4)	146.2%	鳥取市電子図書館も運用を開始するなど、圏域全体で読書活動の推進、利便性の強化の取り組みを継続してきた。 今後は、SNS等を活用した利用促進を図っていきたい。
61	麒麟のまちアカデミー運営事業 ※R4新規事業	全市町	生涯学習講座の参加者の満足度(%)	- (H28)	80% (R4)	90.0% (R4)	112.5%	元々鳥取市のみで行っていた事業を、令和3年度より圏域住民を対象者として拡大し、麒麟のまち圏域住民の方々の生涯学習の推進並びに地域の文化芸術・学術の向上を図るため、麒麟のまちアカデミーとして事業開始した。 引き続き、様々な生涯学習の学びの場の提供をするとともに、圏域住民の利用拡大を推進する。		

No.	役割	連携	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
62	ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	地域振興	野生鳥獣被害防止事業	全市町	年間被害面積 (α)	3,361 (H28)	2,979 (R4)	5,000 (R4)	59.6%	各種対策を実施するも、特にシカの増加とあわせて被害面積が増加している。そのような中、若桜町では、侵入防止柵設置推進の呼びかけにより被害報告が減少した。 引き続き、鳥獣被害対策に係る支援を実施する。令和5年度導入予定の鳥獣捕獲システムの効率的な運用による狩猟者の負担軽減や捕獲対策への活用を図りながら、連携自治体へも情報共有やシステム連携の提案を検討したい。
63			射撃場整備・管理運営事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	鳥取クレー射撃場利用者数 (人/年)	420 (H28)	450 (R4)	861 (R4)	191.3%	銃猟者確保・技術向上のため、引き続き射撃練習支援を行っていく。今後も教習射撃講習、技能講習を実施し、狩猟者の育成を行っていく。
64			いなばのジビエ推進協議会支援事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	いなばのジビエ推進協議会主催イベント入場者数 (人/年)	20,000 (H28)	25,000 (R4)	5,933 (R4)	23.7%	ジビエハンター及び解体処理者の育成、ジビエのPR、普及啓発に努めてきた。 引き続き、既存店の販売PR、学校連携による未来の利活用推進等とっとりジビエのブランド力向上を図りつつ、豚熱発生に対応したイノシシ肉の活用に必要支援を行っていく。
65			グリーンツーリズム推進事業	鳥取市、香美町、新温泉町	グリーンツーリズム関連団体が主催する体験事業の参加者総数 (宿泊を伴うもの) (人)	1,485 (H28)	2,440 (R4)	33 (R4)	1.4%	KPIは目標を達成できなかったが、引き続き、都市住民との交流が盛んに行われるよう取り組む。
66			森林セラピー事業	鳥取市、智頭町	森林セラピー導入企業数 (社) (16社) ※累計	0 (H28)	16 (R4)	20 (R4)	125.0%	コロナ禍においては、県外企業との連携事業が薄れていた。 この度、令和4年度に新規企業2社と連携協定を締結し、共同でPRイベントへ出展した。 今後は上記2社の取引先等へ智頭町森林セラピーをPRし、さらなる利用拡大へつなげていく。
67			麒麟のまち創生戦略会議運営事業	全市町	サミット開催数 (回) (1回/年)	1 (H28)	1 (R4)	1 (R4)	100.0%	コロナ禍にあっても、オンラインも活用しながら麒麟のまち創生戦略会議を開催し、麒麟のまち圏域の一体的かつ持続的な発展を目指し、連携の取組について協議を行ってきた。 引き続き、麒麟のまち圏域構成市町で連携を図りながら、圏域全体の発展を目指し取組を進める。
68			地域づくり活動発表会開催事業	全市町	参加団体数 (回)	0 (H28)	15 (R4)	16 (R4)	106.7%	平成23年度から実施した過疎地域等人材養成事業「とっとりふるさと元気塾」を受講したリーダーを対象に、より専門的・実践的な講座として「とっとりふるさとリーダーアカデミー」を開催し、各地域で具体的な活動を立ち上げて自ら地域活性化に取り組んでいく人材を養成する。令和4年度は27名のリーダーを認定し令和5年度以降も事業を継続する。
69	災害対策	圏域防災力の向上事業	全市町	防災情報連携事業数 (事業)	0 (H28)	2 (R4)	1 (R4)	50.0%	KPIは目標を達成できなかったが、平成30年度から令和4年度までの取組で、圏域内の防災担当者との顔の見える関係を構築するとともに、避難所運営研修等を毎年実施することで、圏域の防災力を向上することができた。 引き続き、防災講習等の実施を継続し、圏域防災力の向上に取り組む。	

No.	役割	実施	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
70	ウ	環境	ごみ減量化推進事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	可燃ごみの処理量 (t)	61,612 (H28)	58,504 (R4)	58,535 (R4)	99.9%	生ごみ減量化の取り組みは、CO2削減などの環境への配慮から生ごみ堆肥化容器等の購入者が増加している。環境に対する住民の意識高揚が、可燃ごみの処理量減少に寄与している。 引き続き購入費用の助成を継続するとともに、電気式生ごみ処理機など可燃ごみの減量に効果的な施策を検討していく。また、「リンピアいなば」を活用した啓発事業を連携して実施する。
71	地域公共交通の向上	地域公共交通	JR山陰本線利用促進事業	鳥取市、岩美町、香美町、新温泉町	山陰本線（佐津～青谷間）の乗客数（千人/年）	3,856 (H28)	4,110 (R4)	2,887 (東浜～青谷間のみ) (R4)	70.2%	人口減少や新型コロナウイルス感染症等の影響で輸送人員が減少傾向にある。JR西日本も厳しい経営状況にある中、旅行需要の拡大や関西万博の開催などを見据え、観光客の取り込みを視野に入れた戦略を検討するとともに、引き続きJR西日本や商工観光団体等と連携して利用促進策や利便性の向上に取り組む。
72			智頭線・因美線利用促進事業	鳥取市、智頭町、八頭町	因美線（鳥取～那岐）、智頭線（智頭～山形）の乗客数（千人/年）	3,345 (H28)	3,350 (R4)	2,425 (鳥取～那岐) (R4)	72.4%	人口減少や新型コロナウイルス感染症等の影響で輸送人員が減少傾向にある。JR西日本も厳しい経営状況にある中、旅行需要の拡大や関西万博の開催などを見据え、観光客の取り込みを視野に入れた戦略を検討するとともに、引き続きJR西日本や関係団体等と連携して利用促進策や利便性の向上に取り組む。
73			広域バス路線等運行支援事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	路線バス利用者数（人/年）	2,474,000 (H28)	減少抑制年5%以内 (R4)	前年比7.5%増 (R4)	達成	マイカーの普及等によって路線バス輸送人員は減少傾向にある中、関係市町、県、交通事業者等が一体となった様々な利用促進の取組みを積極的に展開したことにより、バス利用者数が増加に転じた。今後も、バス路線維持のための必要な支援を行うとともに、利用促進策や輸送量・移動ニーズに応じたバス路線の再編に取り組んでいく必要がある。
74			若桜鉄道利用促進事業	鳥取市、若桜町、八頭町	若桜鉄道の乗客数（人/年）	325,000 (H28)	410,000 (R4)	475,170 (R4)	115.9%	利用促進実行委員会が中心となって利用促進策に取り組んだ結果、利用者が増加した。引き続き、圏域内住民を対象とした利用促進事業を実施するとともに、沿線観光施設や他の公共交通機関とも連携した利用促進施策を展開する。
75			麒麟のまちを巡る交通網の整備検討事業	全市町	要望活動数（回）	4 (H28)	4 (R4)	1 (R4)	25.0%	圏域内における高速バスはニーズに即してないことを結論付けた。圏域内の移動は、路線バスや鉄道を利用する。
76			JR鳥取駅周辺の広域交通結節機能の向上促進事業	全市町	機能強化・充実件数（回）	0 (H28)	1 (R4)	R3事業完了 (R3)	達成	鳥取県東部バス路線図の案内番号設定を踏まえ、鳥取バス協会やバス事業者と連携し、鳥取バスターミナルの各種サインの改修を行ったことで利便性を高めることができた。今後は、鳥取駅周辺機能の再編を検討する。
77			持続可能な生活交通等の維持・確保対策事業	全市町	路線バス利用者数（人/年）	2,823,000 (H28)	減少抑制年5%以内 (R4)	前年比7.5%増 (R4)	達成	鳥取県東部地域MaaS協議会を設立し、飲食店との連携や鉄道・バスの共通バスの発行などに取り組み、マイカーから公共交通機関への転換を促してきた。今後も鉄道・バスの共通バスの発行や定額制電子チケットの試験導入など、各交通手段をシームレスにつなぐことで公共交通の利用促進を図る。

No.	役割	実施	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
78	ウ	圏域全体の生活関連機能サービス向上	ICTインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	CATVでの相互放送(継続実施)	実施(H28)	継続(R4)	継続(R4)	達成	CATVのコンテンツとして、各市町の話題・イベント情報をお互いに情報発信することで、各地域内住民が情報共有による交流促進や圏域全体の一体感の醸成が図られた。
79			ICT関係機器・データ等の共同調達事業	鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町	共同調達案件数(回)	0(H28)	1(R4)	0(R4)	0.0%	連携市町村間で、システム等の共同調達を行うことで、経費削減、事務の効率化を図るよう検討を行ってきたが、検討したシステムについて費用面で効果が出なかったことから、調達まで至らなかった。 今後は、継続して市町村間で共通して必要性のあるシステムの共同化検討に加えて、研修の共同開催、情報システムの情報交換を進めていく。
80	地域内外の住民との交流・移住促進	武蔵野市家族自然体験交流事業	鳥取市、岩美町、若桜町、八頭町	鳥取市、岩美町、若桜町、八頭町	受入人数(人)	175(H28)	175(R4)	中止(R4)	-	鳥取市の農山漁村が豊かな自然景観のもとに、「遊ぶ」「食べる」「学ぶ」「安らぐ」等の生活体験の提供を通じた感動が得られる活力あふれる場となり、そこで暮らす住民と都市住民との交流の拡大を図るため、東京都武蔵野市の家族受け入れを行っている。岩美町、八頭町、若桜町との合同で隔年で事業実施。 令和2年度、令和4年度はコロナのため中止。次回は令和6年度予定。
81			若者定住促進事業	全市町	圏域目標人口(人)	265,499(H27)	255,500(R2)	253,874(R2)	99.4%	KPIは目標を達成できなかったが、平成30年度から令和4年度までの取組で、イベントでのカップルは482組成立し、会員同士の成婚は31組となった。 引き続き、会員へのフォローアップを充実させるとともに、従来の婚活イベント等に加え、サークルの立ち上げやカップル対象イベントを定期的実施するなど、カップル成立から交際、さらには成婚につなげられるよう取り組む。
82			麒麟のまち移住相談会開催事業	全市町	各市町への移住者数(人)	383(H28)	619(R4)	723(R4)	116.8%	首都圏・関西圏で開催される移住相談会への共同出展を行った。参加した相談員が協力して対応し、装飾を統一することで会場内での目を引くなど、相談者の獲得につながることができた。多くの来場者からの相談を対面で受けることができる機会であるため、今後も積極的に共同出展を行っていく。
83			移住体験ツアー開催事業	全市町	各市町への移住者数(人)	383(H28)	619(R4)	723(R4)	116.8%	圏域での実施により、単独市町でのツアーにはない広域的な魅力を提供することができ、参加者アンケートでも高い満足度を得られた。一方参加をきっかけに移住に至ることは難しく、直接的な移住促進施策としての費用対効果について検討が必要。
84			圏域移住促進事業	全市町	各市町への移住者数(人)	368(H28)	619(R4)	723(R4)	116.8%	鳥取市が新たに開設した移住専用ポータルサイトに圏域の情報コンテンツを作成するなど圏域の魅力発信を行った。加えて、圏域で行うイベント情報や空き家情報等を随時更新することで、情報発信を継続的に行った。 今後も適宜コンテンツを更新することで、圏域の情報発信を行っていく。
85	鳥取すごい！ライド支援事業	鳥取市、岩美町、八頭町	鳥取市、岩美町、八頭町	鳥取すごい！ライドの参加者数(人)	534(H28)	600(R4)	497(R4)	82.8%	当該事業により、県内外からのイベント参加者が本市の中山間地域等をめぐり、地域の魅力発信が図られた。 今後も県内外のサイクリストに対し、鳥取市及び県東部圏域の魅力発信を図っていく。	

No.	役割	連携	事業名	事業主体	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	実績値	達成状況	取組の成果と今後の方針
86	ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ネットワークの強化に係る連携	広報誌リリース記事掲載事業	全市町	掲載回数 (回)	2 (H28)	2 (R4)	6 (R4)	300.0%	各地域の基幹的な広報媒体である市報・町報に圏域市町の話題・イベント情報を情報発信し、圏域内の相互理解を促進した。 引き続き、相互の情報発信を行い、交流促進や圏域全体の一体感の醸成を図る。
87			圏域全体のエリアプロモーション事業	全市町	圏域への観光入込客数 (人)	4,764,000 (H28)	8,000,000 (R4)	5,521,622 (R4)	69.0%	これまで、SNSや電子雑誌、ラジオ番組、各種イベント、広報誌など、様々な手法で圏域の魅力発信や観光誘客の促進を図ってきた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、KPIの達成はできなかったが、引き続き、圏域内周遊や愛着度向上を図りながら、圏域全体の活性化につながるよう取り組む。
88		人材の育成	合同職員研修事業	全市町	圏域内全職員数に占める合同職員研修受講者割合 (%)	23 (H28)	25 (R4)	6 (R4)	24.0%	令和4年度は新型コロナウイルスで中止していた研修を、集合せず参加できるオンラインで再開したことで、開催方法の選択肢が増えた。これは今後の合同研修においても、各市町の希望に沿った開催を可能にするものであり、選択肢の一つとして今後も検討していきたい。また今後は、コロナ禍以前のように、職員同士の交流が図れる、集合形式の研修再開も検討する。
89			職員交流検討事業	全市町	検討会議の開催 (回)	0 (H28)	1 (R4)	1 (R4)	100.0%	コロナ禍でも開催できる方法を圏域職員と共に協議し、今後の方針や情報共有なども適宜行うことができた。 引き続き、圏域での研修課題など情報共有に取り組む。
90			外部からの行政及び民間人材の確保	麒麟のまち圏域地域おこし広域隊設置事業	全市町	隊員による圏域の各種情報等の情報共有連絡会の開催回数 (回)	0 (H28)	4 (R4)	0 (R4)	0.0%
91	圏域内市町村の職員等の交流	男女共同参画推進事業	全市町	連携講座の開催回数	0 (H28)	2 (R4)	4 (R4)	200.0%	令和3年度から、連携町にサテライト会場を設置しオンラインによる連携講座を開催し、令和4年度からは連携町のCATVによる講座の収録、地域への放送も連携講座として扱うこととし、より圏域内での連携した啓発に取り組むことができた。 引き続き、オンライン・CATVによる連携講座、また各種の情報発信など、連携町が取り組みやすい方法を選択しながら、圏域内の男女共同参画意識の醸成に努める。	
92			公共施設点検研修の共同実施事業	全市町	公共施設点検研修の実施回数 (回)	2 (H28)	2 (R4)	2 (R4)	100.0%	毎年各自治体より数名の参加がある。引き続き圏域市町の施設管理担当職員を対象とし研修会を実施する。